

「メッシュラップ」の作り方と使い方

創傷やじょく創の治療に使用する「メッシュラップ：さくらクリニックで開発」の作り方と使い方の解説です。

この治療法は、

夏井 睦 さんの 新しい創傷治療 <http://www.wound-treatment.jp/>

鳥谷部俊一さんの じょく創のラップ療法 開放性湿潤療法
<http://www.pressure-ulcer.net/>

を熟知した医師、看護師の指導の下に行ってください。

「メッシュラップ」は、ラップ療法、穴あきポリウレタン法の変法です。
メッシュラップは少し浸出液が多くて周囲の皮膚がかぶれてしまうような場合に最適です。
やわらかいメッシュの素材がある程度ズレ応力を吸収してくれますので、じょく創予防にも効果的です。

▼メッシュラップを使用なさった皆様へ
使用してみての感想や改良点など教えていただければ幸いです。
さくらクリニック sak812sa@ea.mbn.or.jp

■必要なもの

のびーるソフト水切り袋、のびるタイプ水切り袋（台所用ポリエチレン 三角コーナー、排水口兼用排水ネットメッシュタイプ <http://www.lecinc.co.jp/> レック株式会社）ダイエーやドラッグストアにあります。紙おむつ（フラットタイプ）、紙テープ、はさみ



■作り方

傷の大きさより3-5 cmぐらい大きめに紙おむつを切る
排水ネットを紙おむつよりふたまわりほど大きめに切る



紙おむつの肌に当たる面を包むように置きひっくり返してテープで止めていく



上下を紙テープで止めた状態



できあがり

四ヶ所を紙テープで止めた状態

左 皮膚に当てる面

右 外側



■処置の方法

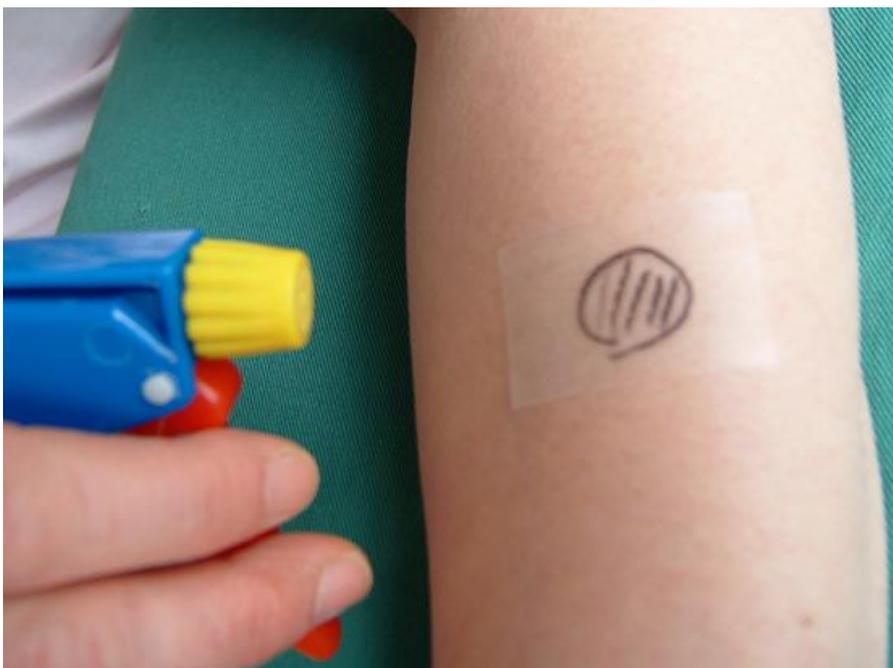
必要なもの

霧吹き（または、よく洗った台所洗剤の空き容器）、ガーゼ、タオルなど水分を拭き取る物
使い捨て手袋、小さいカゴ（必要なものを入れておくと便利）



霧吹き又は台所洗剤の空き容器に水道水を入れて、傷と傷の周囲の皮膚をあまり圧力をかけずに洗淨する。（可能なら洗面所やお風呂でシャワーでやさしく洗ってもOK）

タオルなどで傷の周囲の皮膚の水分を軽く拭き取る（傷は拭かない）



傷口にメッシュラップを当てて軽くテープで止める。



★注意

- ・必ず医師、看護師の指導の下で治療を行ってください。
- ・傷の水洗いに使う霧吹き又は食器洗い洗剤の空き容器の中の水道水は、毎回捨てて容器は乾燥させてください。
- ・傷周囲の皮膚の水分のみを軽く拭き取り、傷は拭かないようにしてください。
- ・メッシュラップの表と裏を間違わないように皮膚に当ててください。
- ・傷口から浸出液（しる）が出ていなくても1日に1回は交換してください。
- ・傷口から浸出液（しる）が多い時は1日に2-3回交換してください。
- ・多少においがすることがありますが、異常ではありません。
- ・あまりにきたない浸出液が多い、周りの皮膚が赤くはれて痛みがある、といった場合は傷が化膿（感染）している可能性があります。すぐに医師、看護師に相談してください。